



## OSPFv3 デマンド回路の無視の設定

- [デマンド回路の無視のサポートに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [OSPFv3 デマンド回線無視の設定 \(1 ページ\)](#)
- [例：OSPFv3 デマンド回線無視のサポート \(2 ページ\)](#)
- [OSPFv3 デマンド回線無視に関する追加情報 \(3 ページ\)](#)
- [OSPFv3 デマンド回路の無視の機能履歴 \(3 ページ\)](#)

### デマンド回路の無視のサポートに関する情報

デマンド回路の無視のサポートを有効にすると、**ipv6 ospf demand-circuit** コマンドで **ignore** キーワードを指定することで、インターフェイスがその他のデバイスからのデマンド回路要求を受け入れないようにできます。デマンド回路の無視はルータがデマンド回路 (DC) ネゴシエーションを受け入れないように指示するため、ハブルータのポイントツーマルチポイントインターフェイスに便利な設定オプションです。

### OSPFv3 デマンド回線無視の設定

#### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **interface** *type number*
4. 次のいずれかのコマンドを入力します。
  - **ipv6 ospf demand-circuit ignore**
  - **ospfv3 demand-circuit ignore**
5. **end**
6. **show ospfv3** *process-id* [*area-id*] [*address-family*] [**vrf** {*vrf-name* |\*}] **interface** [*type number*] [**brief**]

## 例：OSPFv3 デマンド回線無視のサポート

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>interface type number</b> 例： Device(config)# interface GigabitEthernet 0/1/0	インターフェイスのタイプと番号を設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	次のいずれかのコマンドを入力します。  • <b>ipv6 ospf demand-circuit ignore</b>  • <b>ospfv3 demand-circuit ignore</b> 例： Device(config-if)# ipv6 ospf demand-circuit ignore 例： Device(config-if)# ospfv3 demand-circuit ignore	インターフェイスが他のデバイスからのデマンド回線要求を受け入れるのを防止します。
ステップ 5	<b>end</b> 例： Device(config-if)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 6	<b>show ospfv3 process-id [area-id] [address-family] [vrf {vrf-name  *}] interface [type number] [brief]</b> 例： Device# show ospfv3 interface GigabitEthernet 0/1/0	(任意) OSPFv3 関連のインターフェイス情報を表示します。

## 例：OSPFv3 デマンド回線無視のサポート

次に、OSPFv3 デマンド回線無視のサポートを設定する例を示します。

```
Device#interface Serial10/0
ip address 6.1.1.1 255.255.255.0
ipv6 enable
ospfv3 network point-to-multipoint
ospfv3 demand-circuit ignore
ospfv3 1 ipv6 area 0
```

## OSPFv3 デマンド回線無視に関する追加情報

ここでは、OSPFv3 デマンド回線無視機能に関する参考資料を紹介します。

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
OSPF の設定タスク	『Configuring OSPF』
OSPF コマンド	『Cisco IOS IP Routing: OSPF Command Reference』

### シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
右の URL にアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	<a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a>

## OSPFv3 デマンド回路の無視の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1	OSPFv3 デマンド回路の無視	デマンド回路の無視のサポートを有効にすると、 <b>ipv6 ospf demand-circuit ignore</b> キーワードを指定することで、インターフェイスがその他のデバイスからのデマンド回路要求を受け入れないようにできます。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。